

にいがた

生涯学習ネットワーク

第6号

2018.1.31

この情報紙では、県内各地の社会教育活動を紹介していきます。

編集・発行：新潟県生涯学習協会 調査・広報委員会
*「にいがた社会教育」から数えて445号になります。

〒950-2004 新潟市西区平島1301番地 中野プラザ107号

TEL・FAX : 025-266-1120

E-mail : syaky56@feel.ocn.ne.jp HP : <http://www.niigata-lla.com/>

「社会教育関係者元気UP交流集会」開催

平成29年11月25日

新潟県生涯学習協会は昨年度の小千谷市に続き今年度も柏崎市で上記交流集会を開催しました。会場は米山山麓の谷根集落にある築100年以上の古民家で、県内外から26人の参加がありました。

集会はこの古民家の持ち主であり、日本社会教育学会会長・千葉大学名誉教授の長澤成次さんの基調講演「キラリと光る！地域をつくる社会教育実践」から始まりました。地域の未来をつくる公民館職員の課題と全国各地の公民館の実践事例をわかりやすく話されました。

続いて、千葉県君津市職員の布施利之さん、新潟県公民館連合会事務局長の田原理さん、新潟市亀田地区公民館長の伊藤義則さんの話題提供と続き、その後の意見交換では、公民館職員の任期が短くて深く掘り下げることができない、講座開催数は増えても講座回数は減っている、公民館のコミュニティセンター化などの課題が出され、また減る傾向にある予算についても、工夫しながらできる仕事はたくさんあるなどの意見がありました。職員については、現場職員の知恵とやる気が一層試されている



こと、住民との向き合い方や職員の世代間断絶のこと、地域に出かけていくことの大切さなどについて活発な話し合いがされました。

最後の振り返りとまとめは日本公民館学会副会長・日本体育大学教授の上田幸夫さん。戦後70年、我々は何を積み上げて来たのかが問われている。共感できる仲間作りがされているのか、本音を語れない状況を作り出してはいないか、公民館が本気で交流と地域づくりをしているのかと問い合わせ、最後に『公民館の玄関を「ウエルカム！」に変えよう』とまとめられました。

公民館職員は忙しく、目の前の仕事に追われ、つい内側に目が向いてしまいがちです。私たち新潟県生涯学習協会は、他市町村の同じ仕事をする仲間との交流は仕事のヒントと元気アップにつながると確信し、来年度もこの交流集会を開催します。



生涯学習聞き歩き

今回は柏崎市の取り組みを伺いました。お話しいただいたのは柏崎市社会教育委員会議委員長をはじめ様々な活動に取り組まれているに中山博迪さんです。

小学校の教員だった中山さんが社会教育との関わりを、深くもつようになったのは平成8年に上越教育事務所に異動し、青少年教育や家庭教育などを3年間担当してから。その後、松之山町の小学校に校長として赴任、同町の社会教育委員（委員長）として生涯学習計画策定に携わる一方で、公民館分館長も兼務、社会教育講座の講師もしました。



退職後は4年間、柏崎市教育センターに勤め、所長として研修の企画などにあたりました。センターの研修は教員が対象ですが、「地域連携」などをテーマにした講座も意識的に取り上げ、地域の関係者も受講対象に加えるなどして、学校の地域連携に関する意識啓発にもつなげることができました。また柏崎市社会教育委員として活動し、今年で8年目を迎えます。その間、第2次・第3次の柏崎市生涯学習プラン策定に、また新潟県生涯学習審議会委員として「第2次新潟県生涯学習推進プラン」の策定にも関わりました。

柏崎市社会教育委員会議では自主研修を行っています。柏崎市は平成16年度から地域の社会教育機能を公民館からコミュニティセンターに一本化しましたが、自主研修ではコミュニティセンターの活動を洗い出して、課題などをまとめ、平成28年3月

第4回 柏崎市

「ふるさとの良さ を子どもたちに」

に「社会教育委員とコミュニティセンター（公民館分館）との連携について」という提言書を市教委に提出しました。

今年度から2年間の自主研修テーマは、「学校支援地域本部事業とコミュニティスクール」についてです。社会教育委員会議が形骸化している自治体が少なくない中で、中山さんは「モノ申す社会教育委員がこれからますます必要になる。こういう活動を続けていけば、社会教育活動もより良い方向に進んでいくはずです」と力を込めて語ってくださいました。

中山さんが今、力を入れている活動の一つに、学校支援地域本部事業の地域コーディネーターがあります。この活動の目的は、学校・家庭・地域が協働で子どもたちを見守り、支援する活動の総合的な連絡調整を担うもので、柏崎市は中学校区ごとに設置されています。中山さんは柏崎市の西端に位置する全校児童28人の米山小学校で、5年前から「ふるさと遠足」に携わっています。「米山地区は、歴史・文化・自然にあふれた地域です。ふるさとの良さを子どもたちに伝えたい、子どものうちから良さを感じてほしい。少子高齢化が進む中、そうすることで、地元に戻ってくる子どもが一人でも増えてくれれば」と企画への思いを語ってくれました。

また趣味で風景写真を撮っており、自身のホームページなどでたくさん公開しています。写真コンテストがきっかけで、2年前、イタリアで開催された日伊国交樹立150周年の文化交流会に招待され、中学校で「私のふるさと日本」というテーマで授業をしてきました。歴史も文化も違うイタリアの子どもたちとの2日間の交流会をとおして、改めて「子どもは地域の宝」であると強く感じてきたそうです。

賛助会員

～私たちは、新潟県生涯学習協会を応援しています～



大光銀行



一正蒲鉾株式会社



株式会社 池田看板

For Earth, For Life
いのちをつなぐ

株式会社 新潟クボタ



越後製菓株式会社



**株式会社
遠藤製作所**

創ります。人と自然と文明の共存を。



株式会社 本間組

みえる・つながる・
つくりだす

地域活動★キラリ★

語りかける石川雲蝶の彫刻芸術

三条雲蝶会は幕末から明治初期にかけて活躍した、彫刻師 石川雲蝶（1814～1883）の作品を三条市内の本成寺、石動神社の二か所でガイドしています。

本成寺は法華宗の全国総本山で、南の赤門の参道は両側に7ヶ寺が並び、これ呼応し東の黒門の参道は4ヶ寺と、市の文化財の千仏堂が建ちあたりは莊嚴です。

石動神社は、吉野屋集落の権現山頂上に祀られ、400段の階段を上る異色のコースです。

雲蝶は江戸の雑司が谷に生まれ、三条は四之町酒井家の婿養子となり、終焉69才の地となりました。菩提寺は本成寺蓮如院で「柿の実を持つ猿」の彫刻があります。見る人の心を和ましてくれます。

三条雲蝶会は東日本大震災で、福島の被災者の方々を無料でガイドをし、暫し心を癒やしていただきました。

また、県協会の聴覚の不自由な団体さんに、手話を交えてガイドをしました。

三条雲蝶会

最近では公民館活動のご案内が多いですが、同窓会グループや企業の社内親睦、工業会などお出でになる皆さんの広がりも見られます。また、県外からも団体ツアーや、個人でも来られます。



ガイドのお申し込みは

三条雲蝶会

TEL : 0256-33-1754 (角田)
E-Mail : wada@oh-media.com (和田)

今、最も力を入れているのは、石川雲蝶の彫刻の芸術、文化を広め、次の世代に受け渡すため、地元小、中学校の「故郷を知る」授業に出前授業や現地案内など積極的に協力していることです。

年1回小中学生向けイベントも企画し、今年は会員の水晶桂子語り部で、早朝8時から静かなお寺で「夏休み 親子で聴く雲蝶さん」の話をしました。親と子が一緒になって勉強が出来たと感謝され、毎日楽しくガイドをやっています。

こんな時代もありました－朗読とお話の世界－

「新潟県のある村はすれに荒れ寺がひっそりと建っていました。しかし村人は一人として恐れて近くを通る者は居ませんでした。何故ならば毎夜12時になるとザックザックと云う音と共にスッタカドンドーンと云う大きな音がするからでした。村の若者達が集まって何とかしなければと相談し、ある夜10人位で調べに行く事になりました…。」とこんな感じ



昨年10月
新潟市中央公民館文化祭にて

新潟市 長井ゆき子

で話を進めます。

この新潟のお話の続きは、オハギを作るオバケで、昔の貧しい生活の中から年一回のハレの日の楽しみが昔語りになったのではないかと思っています。

小学生対象の場合は、子供達と共に空飛ぶジュータンに乗って、外国の楽しい、珍しい、また怖いお話など、夏休みや冬休みのお話の時間に楽しいひと時を共有しています。

そんな訳で、日本だけでなく世界の山ほどある伝説や昔話を月2回の集りで現世を忘れて楽しんでいます。

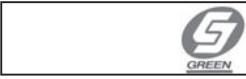
発表の場は、小学校、ケアハウス、公民館などで朗読劇やお話し会として会場の皆様と共に、別世界に気持を遊ばせる楽しみがあります。



共立印刷株式会社
〒950-0971 新潟市中央区近江2丁目16番15号
TEL.025(285)2711(代) FAX.025(283)9386



www.kikusui-sake.com



さんしん
三条信用金庫

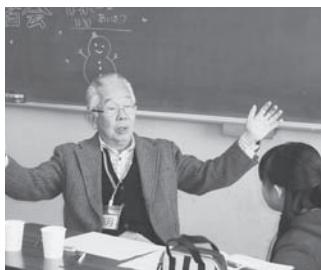


ひと・人・ひと

新潟市 稲月 いなつき あきら 昭さん

15年前から新潟市公民館の“子どもの居場所”見守りボランティアとして活動してきた稻月さんは「子どもたちが気にかかります」と話します。

また、県教育委員会の学習支援ボランティア「市民先生」として登録し、子どもたちの学びを応援しています。



掲示板

交流・野外・体験・学習活動に使える施設紹介

◆「あかたにの家」—新発田市—

平成28年7月9日に新発田市立赤谷小学校跡地にオープンしました。(4月~11月開館)



宿泊定員

72名(宿泊室 全8室)

主な施設

野外炊事場、体育館、研修室、調理室、浴室、洗濯乾燥室、野外広場等

食事

提供はありませんが、自炊やメニューの中から弁当等の注文が可能

使用料

中学生以下1200円(360円)

それ以外1500円(450円)※市外の方は5割加算

問い合わせ

0254-28-2116 (4月~11月)

0254-22-8516 (12月~3月)

◆「おぢゃ～る」—小千谷市—

◆最大90人の宿泊ができる体験施設で、自然体験活動やキャンプ、バーベキューなどのアウトドアが楽しめます。

◆芝生広場から望む信濃川、越後平野は絶景です。また入館無料の水力発電館では、JRの水力発電のしくみや信濃川の自然などについて、学ぶことができます。

◆遊具の無料貸出しのほか、スノーピーク製キャンプ用品の有料レンタル、冬はジャンボ滑り台やスノートレインなどがあり、一年中楽しいことがいっぱいです。

※詳細については、下記までお問い合わせ下さい。

■市民の家・小千谷信濃川水力発電館「おぢゃ～る」

〒947-0012 小千谷市山本1216-3

TEL 0258-82-2478

ねつとわーく

新潟開発教育研究会

学校現場や社会教育実践で「アクティブラーニング」の実践が求められ、戸惑っている方もいらっしゃるのではないか。そんな方は当会と一緒に学び、アクティブラーニングにもうろたえずに対応できる実践力を身に付けませんか。

当会は新潟県下の学校職員や社会人20名で構成。活動内容は

- ① 授業作り(総合的な学習や各教科特に社会科)のスキルアップのアドバイス
- ② 学習会(実践発表、街歩き)
- ③ 教材作りなどです。

当会で作成した「コーヒーカップの向こう側」(コーヒーを通して貿易の仕組みを考える)は消費者教育教材2017優秀賞を受賞しました。

また、当会では講師派遣も行っていますので是非ご活用ください。

問い合わせ 025-268-8405 (陶山)



新潟県生涯学習協会 インフォメーション

◆晴雨計ゼミナー

「時代が変わる～学ぼう～」

講 師：新潟国際情報大学学長

新潟県生涯学習協会会長 平山 征夫

日 時：3月17日(土) 13:30~15:30

会 場：燕市中央公民館

(燕市水道町1-3-28 TEL:0256-63-7001)

参加費：300円

調査・広報委員長のつぶやき

学生時代には使わなかったのに、社会人になってから毎日のように使っている言葉について、ふと、考えてみた。

「お世話になっております」が圧倒的。1週間で100回以上言っている気がします。いくらなんでもお世話になり過ぎで、死ぬまでどれだけお世話になるのだろうと思いを巡らしながら今年も平和な一年がスタートしました。

新年の抱負は「妻から叱られない一年」にしたい。それには「いつも大変お世話になっております」と繰り返し言うことが肝心。(田原)